

2011年度

科目名	社会福祉援助技術演習Ⅰ				
担当教員	畠中 義久、農野 寛治				
配当	教福2(42134214)			コード	24050
開期	通年	講時	火曜日4限	単位数	4
授業テーマ	社会福祉の専門的援助技術を展開するために必要な知識と技法について、演習形式により実践的に習得する。				
目的と概要	社会福祉援助を行うときの基盤となる面接技法や生活問題のアセスメントのための技法等について、その基本原則と援助過程を実践的に理解するために、演習方式の授業を行う。具体的な相談援助事例を活用し、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形式により、総合的かつ包括的な援助について実践的に習得することを目標とする。				
成績評価法	受講態度・筆記試験・課題・演習参加姿勢など、総合的に評価する。				
テキスト	①社会福祉士相談援助演習 白澤政和、福山和女、石川久展、中央法規 ②ワークブック社会福祉援助技術演習1 対人援助の基礎 山田 容 ミネルヴァ書房				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	〈履修に当たっての注意・助言〉ソーシャルワークの方法を、より深く理解して欲しいので課題を出すことがあるが、積極的に取り組んでください。〈準備学習〉ソーシャルワークに関する基本文献を紹介するので、自身でも読み込んで、より理解を深めておくこと。また、毎回の授業の中で、次回までに調べておく事項を伝えるので、自身で文献やインターネット等で調べること。				
講義計画					
1) 相談援助演習の意義 2) 相談援助における基本技術 ①人を理解する 3) 相談援助における基本技術 ②クライアントを理解する 4) 相談援助における基本技術 ③他者の心を理解する 5) 相談援助における基本技術 ④自己の心を理解する 6) 相談援助における基本技術 ⑤他者の気持ちを理解する 7) 相談援助における基本技術 ⑥自己の気持ちを理解する 8) 相談援助における基本技術 ⑦他者の行動を理解する 9) 相談援助における基本技術 ⑧自己の行動を理解する 10) 相談援助における面接の技術 ①面接の目的と特性 11) 相談援助における面接の技術 ②面接の基盤 12) 相談援助における面接の技術③基本的応答技法 13) 相談援助における面接の技術 ④面接の展開 14) 相談援助における面接の技術 ⑤非言語的コミュニケーション 15) 相談援助における「価値」・「知識」・「技術」 16) ソーシャルワークの概念 17) ソーシャルワークの実践方法ー介入のための様々な方法論ー 18) 治療・環境・生活モデル 19) ストレngthsモデル 20) 心理社会的アプローチ 21) 機能的アプローチ 22) 問題解決アプローチ 23) 危機介入アプローチ 24) 行動変容アプローチ 25) エンパワメントアプローチ 26) 家族システム論 27) ケース（ケア）マネジメント①生活ニーズのとらえ方 28) ケース（ケア）マネジメント②生活ニーズと社会資源の連結方法 29) ケアプラン 30) グループワーク					